

# 野生型エノキタケ新品種を栽培してみませんか？

利用部 微生物G 宜寿次盛生，米山彰造，東智則，津田真由美  
バイオマスG 檜山亮，法人本部 研究推進部 知的財産G 吉野沙弥佳

林産試験場では野生型エノキタケの新品種を開発し、「雪黄金（ゆきこがね）」と命名、品種登録出願しました（図1）。



図1 エノキタケ新品種「雪黄金（ゆきこがね）」

## 取り組みの背景

- 野生のエノキタケは傘が褐色ですが、人工栽培で生産されるエノキタケは「純白系」の品種がほとんどです。
- 林産試験場では天然の形態・食感・風味を有する野生型エノキタケ（えぞ雪の下）を開発し、市場での根強い需要から25年以上一定量の生産品が流通しています。
- 近年の省力化へのニーズに対応するため、従来品種よりも栽培効率の高い新品種の開発に取り組みました。

## 研究の結果と考察

- 「雪黄金」は、味や食感を維持しながら栽培日数が短縮（1割）できるので、従来品種より**生産効率が向上**しました（表1，表2）。
- 「雪黄金」は、生産者での菌掻き（＝発生制御）が可能になりました（図2）。

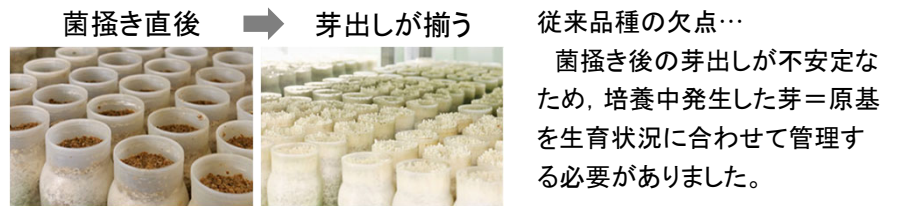


図2 エノキタケの栽培工程「菌掻き」

表1 雪黄金と従来品種の栽培試験結果(トドマツおが粉)

培地	品種	菌糸蔓延 日数	栽培 日数	収量 g/ビン	生産効率 g/(ビン・日)
カラマツ・米ぬか培地	雪黄金	17	36	140.2	3.89
	従来品種	18	41	143.9	3.55
トドマツ・米ぬか培地	雪黄金	17	35	142.3	4.10
	従来品種	18	41	109.0	2.67

表2 雪黄金と従来品種の栽培試験結果(コーンコブ添加)

培地	品種	菌糸蔓延 日数	栽培 日数	収量 g/ビン	生産効率 g/(ビン・日)
カラマツ・米ぬか培地	雪黄金	20	37	139.0	3.73
	従来品種	20	41	129.2	3.12
*市販培地10g置換	雪黄金	22	40	146.2	3.68
	従来品種	23	45	129.6	2.90
*市販培地50g置換	雪黄金	22	40	165.4	4.12
	従来品種	-	47	149.4	3.16

\*カラマツの一部を市販培地（コーンコブミール主体）で置換

- 「雪黄金」は、「えぞ雪の下」の標準的な方法で使用するカラマツおが粉のほか、**トドマツおが粉**を使用した培地（表1）や**コーンコブ**を添加した培地を用いて（表2）も、従来品種に比べ収量増、生産効率の向上が期待できます。
- 袋を用いた菌床栽培も可能です（図3）。



図3 雪黄金の袋栽培例(培地量1kg)

## おわりに

- 「雪黄金」は道総研との利用許諾手続をすることで生産・販売が可能です。詳しくはご相談ください。